

T

退院後も

T

つなぎます

A

あなたの

K

こころとからだ

6月15日号
地域連携室発行

いよいよジメジメした梅雨の季節になりました。
 今年は本当にカラ梅雨になるのでしょうか？
 世間では水不足も深刻な問題になってきているようですが…
 今回の特集！有資格者に聞く！では薬剤科の小野さんにお話を伺いました。



特集！ 有資格者に聞く！

薬剤科 小野 達也さんの 栄養サポートチーム（NST）専門薬剤師について

小野さんこんにちは。お忙しい中ありがとうございます。

Q：早速ですが、小野さんの考える NST とはどんなものでしょうか？

A：当院は、平成 15 年より入院された患者様を中心に栄養療法を積極的に行う栄養サポートチーム（以下、NST）が発足しました。皆さんもご存知のように、この地域は高齢者がとても多く、普段食べられていたのに何かのはずみで食べられなくなることもあります。そのため体力が消耗し自分の身をけずってエネルギーに変えられている方もいらっしゃいます。これらの方の原因や対策を考えて栄養状態を改善させていくことが NST 活動です。また、術前に栄養状態をよくした上で手術を受けられますと縫合不全や術後感染の危険性が減少するといわれており手術を受ける方にも栄養療法はとても重要です。

Q：今年 2 月に取得されたこの資格をなぜ取ろうと思われましたか？

A：当院は平成 16 年には日本静脈経腸栄養学会認定の NST 稼働施設に、また平成 17 年には実地修練認定教育施設に認定され、平成 18 年には日本栄養療法推進協議会の NST 稼働施設にも認定され、平成 17 年から日本静脈経腸栄養学会が NST 専門療法士の認定を開始したのをきっかけに資格を取得しようと思いました。

Q：では、資格の内容を教えてください。

A：最近、各医療職種の中で専門性や認定が盛んに行われています。薬剤師の栄養療法の専門性については、日本静脈経腸栄養学会が認定しているこの NST 専門薬剤師の資格をそのまま認め栄養療法専門薬剤師とみなされます。学会では複数の医療職種の専門認定を行うことにより、利用療法についてこれまで以上に専門性をもって患者様に臨み治療や予防に貢献することを狙いとしています。この資格は平成 19 年 2 月現在、全国で NST 専門薬剤師 142 名、専門栄養士 157 名、専門看護師 56 名、専門臨床検査技師 27 名が認定されており、当院は栄養士の川島明美さんと看護師の苗村穂澄師長も同じ時期に認定されています。



Q： 資格取得に対してどのような準備をされましたか？

A： 日本静脈経腸栄養学会セミナーで用いる標準テキストを用いて勉強しましたが、日頃からのNST活動が本当に役立ちました。

試験内容は職種別ではなく同じ問題を受験します。薬剤に関する知識だけで合格することは難しく、栄養療法に関する全般的な知識が求められます。

Q： 今後同じ資格を取得しようと考えている方のために、かかった費用や資格更新が必要かどうか教えてください。

A： 費用は3～5万円ぐらいでしょうか？

私は、足掛け3年かけて学会が認定した学会・講習会等に参加し単位を取得しました。

また2日間の教育セミナーで最新の知識を習得し、当院が認定されている教育施設での40時間の実地修練実習も行わなければなりません。その上で認定試験に合格すると資格が与えられます。

今後は、資格更新のための単位をとらなければなりません。

それと更新講習も受講しなければなりません。

Q： 最後に今後の抱負をお聞かせ下さい。

A： 日々のNST活動を通じて多くのかたの栄養状態をうかがうことができます。その中で強く思うことは、一度栄養状態が悪化するとなかなか戻らないし悪循環するということです。これを防ぐためには自宅でも栄養状態のチェックを行うことが必要と考えます。そのため、地域一体型のNST活動が本当に大事に思います。当院主催の「播磨栄養懇話会」や地域医療連携室主導で行われる予定の介護施設や在宅支援センターとの打ち合わせなどは、まさにこれからの地域一体型栄養療法の礎になると思います。その意味からも当院がこの地域の先頭となり、地域の栄養状態を予防・改善していきたいと思っています。

小野さん、ありがとうございました。

今後、当院を中心とした地域一体型の栄養療法を始めとする

医療・福祉の活性化を心より願っています。

また、小野さんの更なる活躍を期待します。



今回よりT・TAK新聞編集委員が新しく加わりました。

今後とも更なる内容の充実を図っていききたいと思います。

よろしく申し上げます。

T T A K新聞のバックナンバーは、播磨病院のホームページからご覧になれます。

<http://www.harima-hp.jp/main.htm>

By S.O